

元気をおくるアロマ隊実行委員会

設立趣意

東北、北関東を襲った未曾有の災害からの復興のために、何かできることがないかと思いつつも答えが見つからない、というのが多くの人々の現状かもしれません。このような時に最も大切な人の精神と体を癒す技術を持ったアロマテラピストからもそのような声を多く聞きます。

アロマの香りの刺激は自律神経（交感神経と副交感神経）のバランスを良くし、免疫系の強化や消化酵素やホルモンなどの内分泌を良くすると言われます。かつて人が自然の草木に日々接していた頃にはそれほど多くなかった自律神経系の障害、免疫系の不全や内分泌系の不順などが、気力と体力の低下に結びつくようになっていきます。今回の災害では、被災者の方々はより切実に、自律神経や免疫や内分泌のバランスを保つことが重要な状況にあると言えます。

その意味でも、今は日本のアロマ関係者にとって、今回の災害を乗り越えようとしている被災者に、どんな働きかけができるかが問われていると言えるでしょう。被災者だけでなく、日本全体に癒しが必要で、日本人全体が元気にならなければいけない時が、まさに今です。それにアロマ関係者がどう関われるかによって、その真価が試されているとも言えます。

すでに何人かの勇気あるアロマテラピストが、ボランティアとして被災者に接し、多くの方から感謝されるという体験をされています。そして、それが伝わることにより、私も手伝いたいという人が、あちこちで声をあげてくれています。今後重視される、より本格的な復興のためにも、アロマを用いて人に元気を取り戻してもらう必要性は多々生じてくるでしょう。

しかし、献身的なボランティア活動も、現状では資金や行動力などの面で限界があり、せつかくの勇気ある行為も継続が不可能となってしまうおそれがあります。

そこでこの度、有志が集まって「元気をおくるアロマ隊実行委員会」を設立することにしました。

この実行委員会は、災害復興のために活動するアロマ関係者のために、その活動資金を確保するための募金受付、被災者とアロマボランティアを結ぶための情報収集、それぞれのボランティアの活動を手助けするための実行委員会です。

アロマをあつかう人々は、各人にそれぞれの手法があり、一つの方法には集約できません。それぞれの主体性を大切にし、各人の責任で活動を行い、連絡を取り合いながらゆるやかに連携してゆく実行委員会にしたいと思います。また、東北や北関東の被災地の地元で、この活動に賛同していただけるアロマ関係者がいらっしゃれば、その方たちの地域での活動も支援したいと考えています。

この「元気をおくるアロマ隊」の活動が、被災者の元気回復、被災現地の復興のみならず、未来につながるアロマの新しい活動に、良い形で結実していけば幸いです。さらに、この活動が、日本人全体の精神と体の健康や環境の問題にも一石を投じ、新しい国づくりの一步につながっていくことを願っています。

2011年4月1日

元気をおくるアロマ隊実行委員会